伯刺西爾時報
Director-Masaharu Samesima
Proprietario-Seisaku Kuroishi
發行所 聖市フアグンデス街一九六 郵函一二 電話七一四六七〇
刊行 伯刺西爾時報社
購讀料 壹ケ月 參ミル 半ケ年 壹ケ年 參拾六ミル 參拾ミル

國民政府漢口撤退
遂に地方軍閥に沒落
西南六省に遁竄餘命を繋ぐか

【上海九日同盟】國民政府は九日遂に漢口移轉を決意、教育、内政、外交、三部は名目上の首都重慶に交通、外交の二部は昆明に移轉、軍事委員會も又衡陽に移るものとみられる、斯くて國民政府は全く西南六省に遁竄し政治的には西南六省を基礎とする地方軍閥として全く經濟的にはこれら奥地方民を土臺とする封建的經濟國家として餘命を保つの余儀なきに立ち到つた、西南六省として包括される湖南、廣東、廣西、貴州、四川、雲南の六省は面積百六十三万八千平方キロ、人口一億四千四百万人で支那本土十八省に比してその割合は面積人口ともに三分の一以上に上つてゐるが、工業界の程度は極めて低く、その經濟活動は唯農業及び手工業に依存せざるを得ない狀態である、然も戰傷に伴ふ商工業の阻害に依つて奥地に於ける農産物價格は崩落し膠狀的の半恐慌狀態は益々深刻化してゐるので國民政府は五月以來地方金融機構改善便法を初め國内資源開發條令、工業奬勵法などを矢繼早に發布、農業金融を促進し尙その發展を計ると共に工業生産力の擴充を企圖してゐるが國庫に資金もとぼしく戰爭遂行上やむを得ざる武器の輸送すら制限するの必要に迫まられてゐる今日國内經濟、産經の余裕とぼしき事はすでに明らかで漢口放棄後に於ける交戰第三期の國民政府は財政的、經濟的に急速に沒落の途をたどるの余儀なきものと觀測され然も西南には蔣介石の敗戰に愛憎をつかし反蔣反國府の空氣漸く濃厚化せんとしてゐる、事實一地方軍閥に顚落せる國府はますゝ窮地に追込まれんとしてゐる

蔣介石は何處へ？

蔣介石、漢口訣別の聲明
列國の秋にすがつて自己保存に力む

【上海九日同盟】漢口來電によれば蔣介石は漢口退却に際して漢口に訣つつする聲明を力說し列國の秋にすがりつゝ西南の奥地に退却するの意を明にしたるが一方南京方面より大部隊が退却するのは南京よりの退却に比しはるかに困難にて即ち揚子江に沿ふて喰ふ事は必ずであり、先般來支那側が漢口市民の大部分を同市から退却せしめつゝあるのを恐れて飽くまで國民政府としての存在を維持する所以を力說し列國の秋にすがりつゝ西南の奥地に退却する事が必ずしも必ずであり、先般來支那側が漢口市民の大部分を同市から退却せしめつゝあるのを恐れて飽くまで國民政府としての存在を維持する所以を力說し列國の秋にすがりつゝ西南の奥地に退却する事を知り且狂暴なる支那軍の暴虐から國民政府の地方軍閥視される西南に退く事は地形的關係上困難である事は南京の退却に比しはるかに困難にて即ち揚子江に沿ふて喰ふ事は必ずであり、先般來支那側が漢口市民の大部分を同市から退却せしめつゝある

退路遮斷を極端に怖れ
漢口擧げて防備施設に大童
來る我進擊に戰々兢々

【上海十日同盟】國民政府逃避後の漢口は今や擧げて防備施設に狂奔し、來るべき日本軍進擊の日を戰々兢々として待つてゐるが、十日漢口來電はその防備狀況につき次の如く說つてゐる、即ち武漢警備司令に蔣介石の股肱陳誠が任命され張發奎を副司令格として漢口を中心に湖北省全省の防備に當り京漢線に於て日本軍の襲撃を阻止せんとするは勿論これと別に河南省西部に於て四川省方面への退路が斷たれる事を非常に恐れ警戒中であると傳へられる、然し支那當局は漢口防備より寧ろ如何にして漢口より昆明へ退却すべきかについて研究しつゝあり、漢口より大部隊が退却するのは南京よりの退却に比しはるかに困難にて即ち揚子江に沿ふて喰ふ事は必ずであり、先般來支那側が漢口市民の大部分を同市から退却せしめつゝある

國府の逃避急遽實現に
駐支外交使臣連面喰ふ
英佛伊大使ら漢口行を急ぐ

【上海九日同盟】國民政府の漢口避難が愈想外に早く實現した事は支那の民を驚愕と失望の淵に陷れると共に全支外交使臣をしてむしろ徐方に暮れしめてゐる、即ち最晩此の事あるべきを豫想して國民政府外交部との間に各種折衝の結果外交部の移轉先たる雲南省昆明にまで同行せねばならない、破目に陥り依つて各大使は外交部責任者の引擧動に之を漢口に於て捕へるべく何れも其豫定を繰上げ同時に國民政府の命脈をの恐れて飽くまで國民政府としての存在を維持する所以を力說し列國の秋にすがりつゝ西南の奥地に退却する事を知り且狂暴なる支那軍の暴虐から國民政府の地方軍閥視される西南に退く事は地形的關係上困難である事は南京の退却に比しはるかに困難にて即ち揚子江に沿ふて喰ふ事は必ずであり、先般來支那側が漢口市民の大部分を同市から退却せしめつゝある

蔣介石、漢口訣別の聲明
列國の秋にすがつて自己保存に力む

【上海九日同盟】漢口來電によれば蔣介石は漢口退却に際して漢口に訣つつする聲明を力說し列國の秋にすがりつゝ西南の奥地に退却する事を知り且狂暴なる支那軍の暴虐から國民政府の地方軍閥視される西南に退く事は地形的關係上困難である事は南京の退却に比しはるかに困難にて即ち揚子江に沿ふて喰ふ事は必ずであり、先般來支那側が漢口市民の大部分を同市から退却せしめつゝある

政戰兩略一致を期し
五相會議の合法化
近衛首相新局面對處に乘出す

【東京十日同盟】徐州會戰後の新情勢に對應すべく戰時彈力内閣への再編成に成功した近衛首相は愈々新局面に對處する不動の對支方策の確立に乘り出す事を決意し十日の閣議に於て

「徐州戰後の重要時期に事變處理に最も關係深い外務、大藏、陸軍の三相の更迭を見たので此際此に海相を加へて隨時隔意なき意見交換をはひ政戰兩略に就き一段の緊密化を計りたい、依つて關係諸氏の了解を求むる次第である」

とて五相會議開催の件に關し正式に閣議の承認を求めた、此に關しては全閣僚異議なく茲に五相會議開催は首相の方針通り決定、來週水曜日頃より隨時此を開き徐州戰後不動の内外政策を協議し政略戰略の一致を期する事となつた、依つて從來便宜上行はれてゐた四相乃至五相會議は茲に言はば全く强化されたことになり首相を中心に宇垣、池田、米内四相の協議に依つて對支方針の一切は決定さるべく閣議は其の決定に就き報告を受け若干の論議を行ふ程度のものとなつて首相の企圖した戰時内閣的性格が實現する事となつたわけである、五相會議の議題は先づ國際情勢並に國内を一般的情勢殊に現下の財政經濟の檢討から初つて逐次徐州戰後に於ける對支方策決定へと會談を重ねて行くであらうが右五相會議と併行して首相は宇垣、池田兩相を兩翼に置いて隨時一般的施政方針も協議すべく此三相會議が五相會議の核心をなすと同時に近衛内閣の一般政策に重要な役割を演ずる性質のものとならう、尙就任以來部内各方面の意嚮を聽取し其の戰地に於ける體驗と照合しつゝ今後の對策に就き考慮を重ねてゐた板垣陸相は最近の機會に近衛首相と會見し對支方策並に國内對策の兩面に亘り其抱負を披瀝して首相の見解を叩き腹藏なき懇談を遂げることゝなつた

抗日本據漢口の大動脈
京漢線南段を爆破遮斷
鄭州全く孤立、國府重大脅威に陷る

【開封十日同盟】鄭州徐州間のろ海線を遮斷した我軍の徐州攻略を容易ならしめた殊勲の○○部隊は十日未明遂に新介石の抗日本據漢口に直進する京漢線を鄭州南方○○キロに於て遮斷し此を破壞保した、かくて漢口政府に軍大脅威を與へ鄭州を全く孤立せしめるに至つた

【開封十日同盟】我○○部隊は十日未明て州南方某地點に於いて京漢線を爆破遮斷した

【東京十日同盟】○○部隊は午前二時て州南方京漢線南段○○の鐵橋を爆破これを完全に破壞した、敵はこれが爲め大動搖に陷入つた

【北京十日同盟】午後零時十五分東司令部發表、京漢線に向ひ前進中の我○○部隊は所在の敵を驅逐しつゝ十日午前一番甘分てい州南方に於て京漢線を遮斷せり

【北京十日同盟】京漢線南段の爆破遮斷は遂に十日未明○○部隊によつて實現し我軍はてい州附近に蟠居する十數万の敵軍の退路を完全に遮斷此を包圍することに成功した、敵軍は我方の爆破を知つて周章狼狽西方及び西南方中間地區に向けてい州城より雪崩を打つて潰走しつゝある、かくて京漢線南段の爆破功によつてい州に漢口の連絡線の完全なる遮斷を見、漢口方面への一大痛棒を與へたものと言ふべく戰略上の意義は頗る重大である

鄭州敵軍の運命
今や風前の燈火

【北京十日同盟】京漢線南段破によつて漢口の退路を斷たれ、鄭州は上を下への大狼狽狽狽の極に達してゐる事が老幼婦女子の數は數萬に達し中傷者に依つて判明した我陸軍の荒廢は地上部隊の壯擧に呼應し昨日に引き續き今日も早朝より活躍、潰走の敵に爆撃を加へ大打撃を與へつゝあり鄭州敵軍の運命も今や空陸よりの攻撃により風前の燈火となつた

頑敵を排撃
鄭州に急迫

【歸德十日同盟】我○○部隊は頑强に抵抗する西面の敵陣を突破し十日午前十時遂に京漢線の東方二キロの○○（鄭州、新鄭の中間）に突入した

海軍航空隊引續き南支方面を空襲
各地飛行場鐵路等を爆破す

【上海十日同盟】艦隊報道部發表、昨日海軍航空隊は引續き南支方面に於て左の攻撃を敢行せり

一、廣東市攻撃隊は黃沙驛及び市政府に對し各數彈の命中彈により既に顯著の爆撃により被れる被害は更に增大せり

二、白雲飛行場攻撃部隊は飛行場兩側の格納庫を爆撃共に直撃彈により此等を爆破炎上せしめたり

三、韶關攻撃部隊は韶關兵工廠を爆撃其の一部を爆破せり、又招關飛行場を爆撃し其の一機を大破しガソリン庫を炎上せしめたり

自暴自棄の支那軍
鄭州城内を燒く
黑煙濛々この世の地獄

【上海十日同盟】漢口來電に依れば鄭軍の暴擧に依り隊落今や目睫に迫れる鄭州では打續く敗戰に自暴自棄となつた支那軍が隊落後日本軍に使用される事を恐れて城内の凡ゆる建築物を燒却し始め既に黑煙濛々と立上り、火焰爆發の音が鳴り響いて此の世の地獄を現出してゐる

招商局財産讓渡契約を承認せず
臨時政府宣言

【北京九日同盟】米國人ハントの招商局所有財産讓渡問題に關し臨時政府は維新政府と歩調を合せ九日漢口政府の讓渡契約を絶對に承認せざる旨宣言を發した

中支電力開發に華中電業公司創立
資本金二千五百萬圓

【東京十日同盟】中支の電力開發に就き考究中であつた中支電業組合では九日加盟會社の協議會を開催し中支に於る總電氣配電の一貫作業を行ふと共に水道事業も兼營する、資本金二千五百万円の華中電業公司創立することに決定本月末上海に創立總會を開催する

香月清司中將歸還
十三日入京參内の筈

【下關發同盟】河北の天地に無敵皇軍の威武を輝かした香月清司中將は十日朝下關入港、陸路に就き考究中であつた中支電業組合では九日加盟會社の協議會を開催し中支に於る總電氣配電の一貫作業を行ふと共に水道事業も兼營する、資本金二千五百万円の華中電業公司創立することに決定本月末上海に創立總會を開催する

月清司中將は十日朝下關入港の關釜連絡船蘭領安丸で歸還した、同將軍は山陽ホテルで記者團と會見赤の戰地の塵勞を見せず旺盛な元氣を見せつつ語つた

支那軍は兵員資源は無盡藏であり軍需品の供給さへあればどこまでも長期抗戰が出來るのだと今日の鄭州强に抵抗を續けてゐる、何と云つても蔣介石は相當な人物である、決して見くびつてはならぬ、擧國一致、一致最後的通牒を叩きつけた以上ほどこまでも徹底的に戰ふのだ、陣沒部下將士を想へば千万無量の感がする今日までの目的を達したのも御稜威の下に忠勇無比の將兵によるもので唯感心より感謝感謝に堪へない次第である、英靈の爲にも戰後の締めくゝりをしつかりやつてもらひたい

離香月中將は十三日午前入京直ちに參内奏上の筈

津浦線復舊
全線開通

【上海九日同盟】上海軍發表、佐藤部隊は徐州會戰以來津浦線南段捷多の破壞箇所を晝夜兼行修理中のところ略完成を見たので九日を以て第一列車を通じるのはこびとなりこゝに津浦線全線は完全に開通するに至れり

蘇聯提示の對支援助條件六項目
蔣介石果して容れるや

【東京十日同盟】確報によればソ聯がわは對支援助の條件として六項目を擧げて支那側の實行を求めたと言はれるが蔣介石にとつては相當苛酷なもので實行困難と見られるが漢口放棄を免れない窮境にある今日蔣は何等かの形式で此條件を容れるやも知れず今後の動向は注目される、條件の主なるものは

一、蘇支國境の共同防衛
一、國民政府首席顧問に蘇聯人を招聘する
一、蘇聯側の意嚮に基き國民政府の行政機構を改革する

物價問題總元締め
商工省に握飯運動
消費節約實行に示現

【東京十日同盟】消費節約は各方面に種々の企てをもつて實行に移されてゐるがこゝ物價問題總元締の商工省の中に握飯運動が起された、この中心となつてゐるのは商務局の商政課で九日夕刻から同課が全省員の間にまわされた事務多忙折から銃後の我々の使命も又重且大と思はれる、そこで戰線勇士の勞苦の万分一でもこれを忍び又消費節約實行奬勵等重要な國策遂行の線に沿ひ適々物資並びに精神總動員を强固にする爲の一示現として實行し度い

一、中食は手輕當のこと、出來れば毎日少くとも毎週月金曜のこと、但し必ず一日十五日は日の丸辨當のこと

一、飾り襟いて衣服簡易化、ノーネクタイ、上着なし夏と共に實行には入ることになつてゐるといふことである

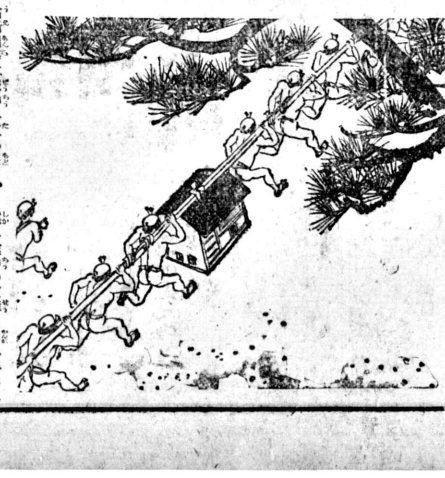
全國農學校では
愈よ夏休廢止
夏期特別指導を實施
日本農業道の確立へ

【東京十日同盟】九日文部省で開始された全國農學校長會の席上東京府立園藝學校長山本正英氏から農藝を征服して國民總動員の實を擧げるため夏休みを全廢し度いと提案、滿場異議なく賛成したのでこの夏から全國三百四十六の農學校では夏休み廢止を實行し七八月一杯を夏期特別指導期間、同訓練期間として低學年には動植物採集、早起き奬勵、水泳を高學年には實習、宿泊訓練、農業基本調査等を行はせて教育訓練の効果を擧げると共に延いて日本農業道を確立することになつたが裏面に一週間前後は休養し家庭との團欒をさせる事になつてゐる

國際加盟を慶祝
日滿對抗競技會擧行
七月下旬新京にて

【東京十日同盟】滿洲國体育聯盟は國際陸聯加盟實現を慶祝しこの夏七月下旬新京に於て日滿對抗競技會を擧行したき旨希望し日本陸聯宛に交渉があつたので陸聯でもこれを了承し滿洲中のところ九日選督一名、マネージャー一名、選手廿三名の選手團を派遣することに決定した

支那側代表の演說を禁止
「ジュネーブ九日同盟」國際勞働會議議長ファルコン氏は九日午前の會議に於て朱支那側代表の演說草案中に不穏の反日言辭ありとして同代表の演說を禁止した



實說 忠臣藏 悟道軒圓玉 講 一朝 畫
（映畫化）
第五十七席

内匠頭はこれ亦無何の屬に誘はれて二月櫻散つた櫻を見てサラ〳〵と書き下した一首

風誘ふ花よりも亦我はなほ春の名殘りをいかにとやせん

やがて短刀を取り上げ左の脇腹へ突立て靜かに右に引廻はし、其時左の手が腹からスルリと出る、それと同時に武太夫の刀抜いた一刀、頭上に閃くと見たが、内匠頭の首はパサリと膝に落ちた、享年三十六歳、一說に卅七とある、實に惜しいことを致した。そこでこの太刀は武太夫の寶物となつた。此の子孫は天だに所持してゐると聞きました

所で片岡源五衛門は鐵砲洲の邸に恬然と引取る。庄田下總守、多門傳八郎、大久保權右衛門等は城中へ立ち戻り、内匠頭切腹いたした始末を御老中に申達し、そこで一同退出、多門傳八郎は番町の自宅へ引取つた

ところが果して内匠頭の本家浅野安藝守より藩府へ故障を申し入れた。それは、内匠頭は御法に背きし者故切腹仰せつけられるは當然であるが官位ある者庭前にてのお處置は公儀のお指圖になり事形は公儀のお指圖になり事は右京太夫一存をなし事致せしことか、其の儀を承はりたいとの强硬談判これを聞いて多門傳八郎が斯ういふ事もあらうかと存じ拙者は下總守に申入れたが聞き容れぬと有の儘を老中に申し入れた。

そこで庄田下總守はお役御免、これにて此の一件は落着しました

お話は前に戻り、殿中に於て及び傷の次第が知れ渡るとき大手下馬先の騒擾はさながら蜂の巣を突いたが如く、各々我主人の身を憂慮する折から「浅野内匠頭殿上野介へ及び御」と然し途中の故障も考へあると云ふ言葉も終らぬ内に

「それは拙者に……」

「其方を……」

我も我もと希望者が現はれたが、結局萩野三平と速水藤左衛門が行くことに決定した

そこで至急用意にかゝり早籠を仕立て、八人駕籠に網引に三人附き添ふ、萩野と速水は布をもつて腹部を巻き、白木綿を以て鉢巻をいたし、駕の棒より長槍をとはして布を巻れてこれに據まり、藥湯を飲の内に用意して乘る。多勢より濱鍋の雲集を背に浴びて木綿を以て鉢巻をいたし、駕の棒より長槍をとはして布を巻れてこれに據まり、藥湯を飲の内に用意して乘る。多勢より濱鍋の雲集を背に浴びて

「エイ、エイ、エイ、エイ」

と呼ぶ聲は明るく、播州赤穂郡豊田の庄屋城下指して急ぐ、早籠は屋敷に於て人足が其の籠をかゝ下ると宿を出ると急ぐ、籠の籠をかゝ下ると人足が其の籠を

金獲得が急務

輸入金磅價高騰し 伯國對外貿易に暗影

當局對策に乘り出すか

本年一月に於ける伯國輸出品の金磅價低落は輸出品の金磅價高騰を示し、對外通商バランスに暗影を投じてゐたが更に二月に入るや右傾向は激化し益々經濟狀態惡化の一路を辿りつゝあるかを思はせる結果伯國は輸出を增加しつゝ金獲得は減少し、輸入の增加に連れてより有利な金費失をなすことになるのである即ち輸出品量をトン級に見れば（上二ヶ月に於て）

年	輸出	輸入
九三四	三二七、五六二	三、三九八、六四五
九三五	三九一、〇五六	四、二九九、八九一
九三六	四二六、一一六	五、三八一、九六四
九三七	五四四、三九〇	六、五九四、七九八
九三八	六一一、九一〇	七、〇三、九一〇
九三九年	七〇三、九七七	八、二、三九〇
九三八年	七八二、三九〇	七、九二、三九〇

と飛躍的に增加してゐるがこの金磅價を見ると

年	輸出	輸入
九三四	三、三九一、〇五六	三、三九八、六四五
九三五	四、二九九、八九一	九、二五
九三六	四、三二二、〇〇二	九、三六
九三七	五、三八一、九六四	九、三七
九三八	六、五九四、七九八	九、三八

と激增してゐる

以上で明らかな如く本年上二ヶ月に伯國は既にその對外通商バランスに一、三三五、七四三金磅の赤字を示してゐるのである、伯國輸出の金磅價減少は唯一珈琲價低落のみの續うものではない、一般輸出品の價格も一擧に下落した、司及能遽かに何等かの對策を講ずるに非ざれば伯國經濟の前途は甚だ憂慮たるものがある

池田新藏相の積極政策

伯棉對日流出增加せん

伯國商人側にも好評

池田新藏相蔵相は就任以來會ある毎に實業屋、吉野コンビを行はれた輸入統制政策を廢し積極經濟政策を採る旨言明し一般より注目されてゐたが去五日ラヂオで行つた演說中棉花買入高を增加する旨言明し伯國棉花市場に好材料を與へてゐる

即ち實業屋藏相は吉野商相の協力を得て棉花輸入を月廿五萬俵に制限し、國內需要品には輸入を增加し、國內需要品には輸入を增加し、二、〇五五俵と增出量に邁行して來たが一方輸出に於て右の現象を呈しく細布輸出高を減少せしめる結果となり結局通商バランスの平衡を破るに至つたのである

此の池田政策に依つて日本が何程の棉花を伯國より輸入するかは明瞭ではないが軍事的工業的に相當の需要有りと察せられ、伯國棉も少く共昨年度購入高、即ち卅萬俵には達するであらうと思はれるから伯國內需要品には輸入を增加し、二、〇五五俵と云ふよりは混用を强制したものであつた、而し此の措置は著

昨年中の伯國柑橘輸出高

五百卅二万千箱

昨年中に國內諸港から海外へ輸出された柑の箱數はすでに發表された數字に間違ひがあるとの說が有力となつて居たがそれに對し稅金收入高から割出した確かな輸出數量として農務省から最近總表した所に依れば總數九百卅二萬五千八百八箱で內譯すると次の通りである

リオ	三・三一一・三〇八箱
サントス及サンセバスチオン	一・九八三・九〇一箱
ペロタス及イタキー	二・六〇七箱
ポルトアレグレ	二八・五三二箱

右表で見れば柑の輸出の一番多いのはリオで總輸出の六〇%を占めサントスとサンセバスチオンは遙に少く殆どその半分の百九十八万箱、三七%である

聖州新棉格付高

早くも一億キロ突破

輸出高五千万餘キロ

三月以來去る九日までの聖州棉輸出高を見ると左の通りである

七日迄分	二八九、〇五九俵	
八日　分	五、四五〇俵	
合計	廿九万四千五百九俵	
合計	千十二万七千六百六十七瓩	

である

九日の聖市格付所の建値をみると左の通りである

	賣	買
三級	四六〇〇	四五〇〇
四級	四六〇〇	四六〇〇
五級	四五〇〇	四六〇〇
六級	四四〇〇	四五〇〇
七級	四二〇〇	四四〇〇
八級	ノミナル	ノミナル
九級		

輸出入共に南米第二位

聖州對外貿易依然活ばつ

生產品の最大顧客は米國

日本は三位廿三萬コントス

今年の池田藏相の積極政策は既に伯國商界を感激するものとして當市市場筋、運輸界方面で好感を以て迎へられてゐる

聖州の生產品輸入の最大顧客は何と云つても米國で九七七五八二コントスを輸入して居り、次が獨逸の四一〇、七六九コントス、日本は第三位にあり二二九、六六二コントスその他の主要輸入國は（單位コントス）

英國	二一七、三六〇
佛國	一二三、九〇一
スエーデン	七八、五九四
和蘭	七三、七一三
白耳義	六〇、四四九

等である（右國字は何れも一九三七年のもの）

南米大陸より亞國を除けば聖州はその對外貿易に於て第一位にあり、まだ〳〵發展の餘裕を見せ朗かに前途を約束してゐる

今一つは五、一一事件に依り兩國關係が惡化した結果であらうと云はれる、ドイツの伯國輸出は年十二万瓩程度であつた、之が全部ではないにせよ輸出が止まり、日本又輸入を制限した事は少からざる惡影響を及ぼした事は確かである、

年	輸出	輸入
九三六	一、六七七、一一七四	一、九三八、八六六五
九三七	二、〇七一、四〇五	二、〇七一、一三四
九三八	二、五八九、八九四	二、五八九、八九四
九三七	二、四七二、九七〇	二、四七二、九七〇

と同じ增加をしてゐる

（單位コントス）

年	輸出	輸入
九三四	三二七、五六二	三、三九八、六四五
九三五	三九一、〇五六	四、二九九、八九一
九三六	四二六、一一六	五、三八一、九六四
九三七	五四四、三九〇	六、五九四、七九八
九三八	六一一、九一〇	七、〇三、九一〇
九三九年	七〇三、九七七	八、二、三九〇
九三八年	七八二、三九〇	七、九二、三九〇

と飛躍的に增加してゐるがこの金磅價を見ると

祕國軍隊國境集中說

許容出來ざる嘘報だ

祕國外相否定す

【リオ九日U】コンシヤ祕露外相がアーバス通信員に發表した所に依ればエクアドル首都キト方面に流布されてゐる數千の祕露軍隊續々國境集中說は事實無根で如何にしてかゝる說が生まれたのか了護に苦しむ所であると云ひ、祕露國がエクアドル國境に送つた軍隊は飛行機と步兵隊の少數で只國境監視に是非必要なものを送つたに過ぎずしかも本年はエクアドルが國境へ四百の守備兵を送つたと云ふ情報を得た後エクアドルへ通告してから執つた措置である、今回の兩國軍國境衝突事件は悲しむ可き事ではあるが然し祕露政府と國民は本事件に直面して取亂するような事はなく平靜に推移してをり、軍事的手段と云ふ樣なことはかんがへてをらず、この上こんな許容すべからざる流言が流布しない爲、調査委員會を設けて現場を調査せしめる事が好い、祕露國には法規尊重の傳統的歷史を保存してゐると述べ最後に祕露國民は土は祖國が攻擊される如き行動は一切取る筈がない」と結んだ

獨逸二軍用機

波蘭領內を飛翔

國民一齊に憤激

【ワルソー九日U】當地新聞は本日ドイツの軍用飛行機二台がカトウイツツ附近ローダから東方向け波蘭國領土內を飛翔したを大きな見出しで大々的に報道してゐるが此の行爲に對し波蘭國民は一齊に憤激してゐる

大統領艦隊を檢閱

伯國海軍演習再開

明十二日より出動

本年の海軍演習プログラムに從ひ一時中止中だつた演習を再び擧行すべく、來る十二日伯國艦隊はライムンド・メンドンサ大將の管下にイリヤグランデ方面向け出動する筈であるが出動前大統領は艦隊の檢閱を行ふ筈である

小麥輸入防止策

混成パン成績良好

近く第一軍團で試用

小麥粉輸入防止策として政府は混成パン製造を試みたが純小麥粉パンに比し燒け味は既報の通りであるがリオテオドロの兵站部では去る九月パン係長ラベロ中尉指揮下に生產奬勵課長その他の官憲立ち會のもとに三〇%のマンヂオカ粉混入パン製造を試みたが純小麥粉パンに比し燒け味は既報の通りであるがリオ第一軍團で去る九月一〇、〇二六俵合計六十三万九百七十五俵一億一千二百廿八万一千四十八瓩を突破したつぎに二月以來のサントス港に於て右の現象を呈し

昨年中の伯國柑橘輸出高

五百卅二万千箱

番多いのはリオで總輸出の六〇%を占めサントスとサンセバスチオンは遙に少く殆どその半分の百九十八万箱、三七%である

小麥輸入防止策

混成パン成績良好

近く第一軍團で試用

チオカ粉混入パン製造を試みたが純小麥粉パンに比し燒け味は既報の通りであるがリオ第一軍團で去る九月一〇、〇二六俵合計六十三万九百七十五俵一億一千二百廿八万一千四十八瓩を突破したつぎに二月以來のサントス港に於て右の現象を呈し

東亞の空多端

羽搏く荒鷲の堅陣

英極東空軍の强化と威力（下）

シンガポールの基地完成

攻略戰の航空部隊では何と云つても其點制限が艦が陸上に基地を持つ空軍に比し甚だしい不利な立場に立つと云ふ事は定說になつて居り、陸上基地を持つ空軍が國內工業に依り修理や補充が容易なのに反して艦

では何と云つても其點制限があつて不自由だからである、有事の場合早速出動するのはシンガポールの極東艦隊である、これを援護するのが空軍であるが艦隊が有動性を得て新ドックが又其機能の最大限度を發揮しなければならぬ

わけで從つてそのドックと軍需資材とを護ることは勝利の鍵に絕對必要となり根據地に長距離側や對空砲が裝備される理由である

敵米の陸軍機の中にも現在少數の爆彈を積んで一千哩も飛行した上目的物を爆擊して歸還出來るものも有るし三年後には其行動半徑が二千哩に達するものが現れ爆彈機搭載量も大きくなるであらうから、其時は英國無敵艦隊の出現とも云はれる、ドイツの伯國輸出は年十二万瓩程度であつた、之が全部ではないにせよ輸出が止まり、日本又輸入を制限した事は少からざる影響を及ぼした事は確かである、

今次の池田藏相の積極政策は既に伯國商界を感激するものとして當市市場筋、運輸界方面で好感を以て迎へられてゐる

輸出入共に南米第二位

聖州對外貿易依然活ばつ

生產品の最大顧客は米國

日本は三位廿三萬コントス

	輸出	輸入
九三四	一、九三八、八六六五	三、九三五
九三五	二、〇七一、一三四	二、〇七一
九三六	二、五八九、八九四	二、五八九
九三七	二、四七二、九七〇	九三七

（單位コントス）

年	輸出	輸入
九三四	三二七、五六二	三、三九八、六四五
九三五	三九一、〇五六	四、二九九、八九一
九三六	四二六、一一六	五、三八一、九六四
九三七	五四四、三九〇	六、五九四、七九八
九三八	六一一、九一〇	七、〇三、九一〇
九三九年	七〇三、九七七	八、二、三九〇
九三八年	七八二、三九〇	七、九二、三九〇

池田新藏相の積極政策

伯棉對日流出增加せん

伯國商人側にも好評

昨年中の伯國柑橘輸出高

五百卅二万千箱

聖州新棉格付高

早くも一億キロ突破

輸出高五千万餘キロ

東亞の空多端

羽搏く荒鷲の堅陣

英極東空軍の强化と威力（下）

シンガポールの基地完成

攻略戰の航空部隊では何と云つても其點制限が艦が陸上に基地を持つ空軍に比し甚だしい不利な立場に立つと云ふ事は定說になつて居り、陸上基地を持つ空軍が國內工業に依り修理や補充が容易なのに反して艦

では何と云つても其點制限があつて不自由だからである、有事の場合早速出動するのはシンガポールの極東艦隊である、これを援護するのが空軍であるが艦隊が有動性を得て新ドックが又其機能の最大限度を發揮しなければならぬ

わけで從つてそのドックと軍需資材とを護ることは勝利の鍵に絕對必要となり根據地に長距離側や對空砲が裝備される理由である

敵米の陸軍機の中にも現在少數の爆彈を積んで一千哩も飛行した上目的物を爆擊して歸還出來るものも有るし三年後には其行動半徑が二千哩に達するものが現れ爆彈機搭載量

霧も晴れた爽かな朝……
丸山使節晴れの聖市入り
儀仗兵を從へ州政聽を訪問
州賓待遇第一日終る

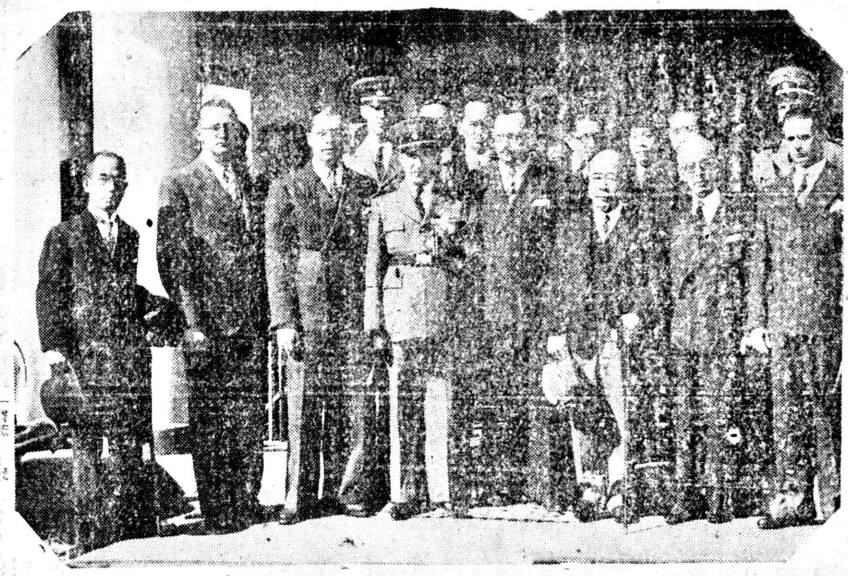
十日、さしも霧深く立ち罩めた聖市近郊コンゴニア飛行場も徐々に晴れ渡つて高臺を吹き過ぎて行く凉風の頬にふれるのも一段と心地よい、爽かなこの日いかにも"吾等の使節"を迎へるに相應しき快晴である、午前十壹時廿五分、英國博使節商警視總監、貴族院議員丸山鶴吉氏一行を乘せたパンアメリカン航空會社の快速旅客機が遙か彼方の空に浮んで見えてきた

歡迎の人の群に一瞬輕いどよめきが起る

坂根總領事、古谷さん、石井事務長らの顏々々の間から珍らしやリンスの御大多羅間さんの顏も見うけられるそして使節隨員として丸山氏に從ふ友人甘利造次氏との再會に胸ときめかす田穗さんの顏も……

機影が段々クローズ・アップされてくる悠々場を旋回した後、プロペラーの廻轉未だ靜止せぬ機上より甘利氏に次いで寫眞で見なれた丸山鶴吉氏が秘書田川清敏氏を從へて降りて來た

ようこそ！御入來



執政官訪問
儀仗兵を從へ

所で聖市の地に第一段を印した丸山氏は、歡迎の內外人に簡單な挨拶を述べ終るや、直ちに州政廳より差し向られた自動車に執政官代理と同乘前後に州警兵オートバイ隊を從へ垣々たるサントアマーロ街道を疾驅屋上の竿頭高く日の丸の飜る宿舍"エスプラナーダ・ホテル"に入つた

寫眞は飛行場に於ける使節同つて前列右から二人目が甘利使節三人目丸山使節四人目執政官代理一番左が坂根總領事午後三時、宿舍を出た州賓丸山使節一行は儀仗兵に前後を守られて沿道塀列の人波に歡乎の聲を浴びながらカンポス・エリゼウ宮に州執政官アデマル・デ・バーロス氏を訪問後に州警兵オートバイ隊を從へ垣々たるサントアマーロ街道を疾驅屋上の竿頭高く日の丸の飜る宿舍"エスプラナーダ・ホテル"に入つた

寫眞は飛行場に於ける使節同つて前列右から二人目が甘利使節三人目丸山使節四人目執政官代理一番左が坂根總領事午後三時、宿舍を出た州賓丸山使節一行は儀仗兵に前後を守られて沿道塀列の人波に歡乎の聲を浴びながらカンポス・エリゼウ宮に州執政官アデマル・デ・バーロス氏を訪問種々歡談するところあつた會談丸分にして同所を辭去した使節一行は更に醫師工省をも訪問した

日本クラブで
一般在留民に講演

かくて公式訪問を終へ旅裝を解いた丸山使節は一日宿舍に戻り同夜六時半坂根總領事招待の晩餐會に臨みさらに八時半日本クラブに於て一般在留民に對して講演を行つた

訪れる

踊りは"かッぱれ"
踊るは金髮碧眼美人
天才舞踊家メリーさん

踊る佳承蕊が目の前に現れる雜誌の口繪を見て憧れてゐた半島の舞姫がブラジルに來る……と云ふので"ワッと在伯同胞を沸きたゝせた佳承蕊來るとのニュースは遂に彼の女の歡淵ゆきでパタリと止まつてしまつたが近くこのブラジルに珍らしい舞踊家が訪れてくると云ふ、其名はラ・メリーさん金髮で碧眼の云はずと知れた西洋人……といふだけではパッとこないせうがこのラ・メリー嬢は越後獅子、カッポレ、唐茄子南瓜、菊づくし、等等と日本古來の踊りが得意だといふから驚かされる、彼女ラ・メリー女史はその卓越せる舞踊の才能をもつて世界各國の踊りを研究、日本には昨年七月から九月までの三ケ月間を過ごして懸命に日本舞踊を習つたと、今は南米舞踊行脚の第一歩をペルーに印してテアトロ・ムニシパルで公開連日大好評を博してゐるがチリー、アルゼンチンのつぎにはブラジルに來て得意の日本踊りを公開する豫定であると

日本の國旗
ラプラタ河上に飜る
近ごろ愉快な話

お隣の聖國からの便り——

在伯邦人もお馴染の內山岩太郎公使はこの程パラグワイ國政府に信任狀を捧呈すべくラプラタ河を遡航ミッシオネスに立寄つたが氏の乘つてゐた汽船の橋頭には眞紅の日章旗が飜つてゐたといふので、同地の新聞は"ラプラタ河始まつて以來日章旗が河上に飜つたのはこれが初めてだ"と大見出しで報じてゐる——兎に角愉快ではある

國防獻金
グワラペス植民地誠友會
高原に沸く歡呼
X光線の据附終了
カ・ジョルドン肺療養所

グワラペス植民地誠友會では國防獻金の爲、會員一同稽擔を行ひ得た金七十餅を「甚だ僅小ながら祖國軍部當局へ傳達方御配慮被下度」との一札と共に本社に送金して來たノロエステ線グワラペス驛

現在の所六十名の患者を收容してゐるカ・ジョルドン同仁會肺療養所に昨年母國から取寄せられたX光線と太陽燈が据え附けられた、同仁會からは高橋ドットルとドイツ人技師アルフレッド・レーマン氏が出張して去る六日で工事全般を終了、試機の結果は上首尾で患者一同は歡呼の聲を擧げて早速世界に冠たる日本醫療機械の恩典を浴びてゐるがX光線の如きは日本に於ても

十六ミリ

◎"此處は朝鮮北端"で若き者は誰あらふ、今州賓の歌の作者はエスプラナーダ・ホテルに万國博覽會の使命を携げて滯伯中の丸山鶴吉氏である

◎我等の同縣人丸山使節を云ふので在聖市の廣島縣人達は大歡迎會を催そうと企画したがプログラムにもある通り物凄い流線型旅行なのでどう頑張を擦つても時間が割り取れず涙を呑んで……お流れ

◎服代えて喜んでゐるのは地方宿泊地の廣島縣人、まさか此處まではお出下されないだらうと思つてゐた此の矢先なので大ハシヤギ、歡迎會準備に大童だと

◎サント・アナスタシオ驛ラーゼ植民地の小學兒童一同は加藤先生に引率されて一所懸命働いて得た汗の結晶金五十ミルレンテを國防獻金にと本社ブ・ブルデンテ支社に寄託した

◎密輸入人の本場、アルゼンチンとブラジルの國境ウルグワイキロとも云ふ大編の網目が發見された蓋し伯國密輸入史上の新一頁だと

御注意
不良分子

左の如きものである

第一條　國家轉覆なる人物、國家治安、公衆の福祉、道德經濟に危害を加へる外國人は追放するものとす

第二條　更に左記條項に相當する外國人を追放す（イ）國家の威嚴を損傷する者、（ロ）財產勞働の自由を害ふ者（ハ）非常手段を以て安維持上有害と認める外國人追放令に署名したが大要

伯國治安を亂す者
左記細則で處刑
大統領の署名終る

ヴァルガス大統領は去る八日選擧違反罪を犯す者（ニ）僞造者（ホ）誘拐醜業の仲介を爲す者（ヘ）有害藥酒藥等の不正商業を營む者（ト）國家の尼介となる乞食又は浮浪者（チ）外國警察より不良分子と認められたる者（リ）外國で國外追放となつた者（ヌ）不正入國者、（ル）齒科者（オ）醫業團體の自由活動を防碍する者

第三條　左記條項の外國人は追放される（イ）廿五ケ年以上伯國內居住者（ロ）合法的結婚に依り結婚し現存の伯國人子弟を持つ者

第四條　前項に依り伯國人たる事を證明したる場合は追放

第五條　追放令を犯人に實施する以前に於て司法、內務大臣は本人を禁錮する事を得

第六條　處刑の理由消滅と同時に追放令を取消す事を得

第七條　國外追放期間內に國內へ入國した事が發見した場合、本人を二—四年の禁錮に處し、終つて再度國外に追放するものとす

第八條　國外追放刑の適用如何の權限は唯大統領のみにあるものとす

第九條　國外追放刑を宣せられたる者は十日間以內に再審を要請する事を得

第十條　外にも服刑すべき犯罪を持つ者は刑服役後國外追放に處せられるものとす

第十一條　本令は官報發表當日より効力を發生するものとす

踊りは"かッぱれ"
踊るは金髮碧眼美人
天才舞踊家メリーさん

親子合作、軍國調
"勝つて來るぞ"と
また一人從軍志願

"吾が子傷つく"との悲報に接した軍國の父は毫も嘆く風もみせず雄々しくも力强く、"汝も行け"と、今は膝下に殘る愛兒に、はるか戰雲渦卷く大陸の空を指ざし示したのであつた

兄者人苦戰の地・想へば若き軍國の血は沸るかくて"勝つて來るぞ"と勇ましく父の許を離れブラジルに訣別れて敢然祖國の難に赴かんとする從軍志願の男兒、また一人……

美談の主はソロ線サンタ・クルースドリオパルド驛に櫛俘を業としてゐる紺馬藤人高橋豐平氏と同氏の次男國三郎君（十九）である

豐平さんの母國に殘した妻男は今回の軍變に際から從軍、江南の戰線に於て勇猛果敢に奮戰してきた勇士であるが、遂に南京攻略戰に臨んだ折に不幸にも銃彈に當り名譽の負傷を蒙り目下本國に後送され御成病院に於て療養中であるがこの報に接した豐平さんは毫も悲しむでもなく、更に勝下にある次男國三郎さんに從軍を勸めるのだつた、この親にして此の子あり、軍國の血を受けつゞく若者に何ぞ逡巡するわけがあらうからして話定まつた銀子は揃つて出發、總領事館に領國査證を願ひ出いよ／＼最近の便船で國三郎君は歸國の途に就くことになつた

足並揃え活潑に
聖市商工組合

聖市の商工業者を以て組織する聖市商工組合では去九日正午日本クラブに於て會合を催し種々商組合の發展向上策其他に就き意見の交換する所あつた、決議されたる事項を略記すれば

一、從業員のピクニックを來月中に行ふ事

一、取扱營業項目を公表する事

一、日本の輸出統制の嚴重施行を要求する事

一、船會社との提携を密ならしめる事

以上であつた

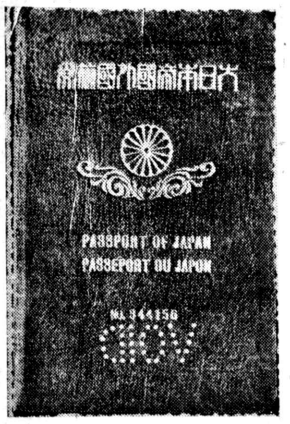
惰眠を貪るわかもとに
差押えの火の手上る
州衛生局遂に最後手段

州衛生局がはじめて紹介のわかもとに疑惑の眼を差向けてから五日と八日の二回に亘つて聖市イルマン・シンプリシアナ街の一邦品輸入商に手入れを行つたと云ふ報らせが衛生局機關紙に發表されたが之について判然としてゐる所はわかもと本舗が製造して日本人が擧つて愛用してゐると云はれてゐる實驗藥養劑は衛生局にも二種類の申請がしてある、即ち一つは藥品としての登錄と云ふ點と、他の一つは食料品としての登錄とがあるが、一方此のわかもとを繼つて登錄商標にも紹介がある、と云はれてゐるが、當局は「わかもと本舗の委任を受けてこの處に置に出たものである、今度の手入れで得た現品は極少數であるが、未だ秘密裡にブラジルでわかもとを製造してゐる家もあると云はれてゐる

角力大會
明日コチヤ校庭で

明日曜日聖市近郊コチヤ小學校校庭で中老ポーツ聯盟主催の相力大會が開催される、午前中は子供ばかり、午後からは大人の時間、飛入を歡迎する爲に賞品は盛澤山にありますと

これは素晴らしい
帝國新旅券



大日本帝國外務大臣○○○○（印）右ハ帝國臣民ニシテ○○○○國（赴ク＝付通路故障ナク旅行セシメ且必要ナル保護扶助ヲ與（ラレム事ヲ其ノ筋ノ諸官ニ要請ス

以上は一度母國を離れて異郷に足を踏み入れた者が誰でも手にする帝國臣民の羅針盤とも云ふべき旅券の第一頁に掲げられた文字である、帝國臣民の四字は我々をして光輝ある日本國民たる名譽を彌が上にも誇張せずにはおかないぞ！と云はんばかりに我々海外在留同胞の胸を衝くが、この旅券も明治、大正、昭和と國威が四海にあまねくに從つて今から考へれば粗末すぎた感のある明治大正の旅券は昭和に入つて小册子となり一頁毎に菊花御紋章が印されるといふ立派なものとなつて來が昭和二年に遣られた最新の旅券が幾多不備な點を有するといふので此處に三度改正が施されて來る八月頃から上記寫眞に見るやうな懷たるものとなつて新出國者に渡される菊花御紋章に代え、布製糊貼りの表紙は汗等の水氣によつて色褪せしたり破損する虞があるので皮製に代へられてある

村上製菓所

聖市コンセレイロ
フルタード街一一〇
電話 ＡＩ一六二六六

告示

左記ノ者宛書留郵便當館ニ保管シアルニ付本人又ハ御存知ノ向ハ直接當館ニ出頭又ハ現住所明記ノ上書信ヲ以テ御請求相成度シ

九山重次郎
鎌田樓
石田正美
三上文
古井美
深野進
山口鶴吉
田中種之助
花田香
田中源重
高野文雄
成川三九郎
岡田敏夫
荻平
角本儀平
石渡重太郎
高津井俊一
宮本一
大島光雄
毛利芳穂
平良彌正
新牛萬治
北榮
清水

Nurijiro Kimura
Tokichi Tarigichi
Lenzo Wada
Taiso Ueda
Yoshio Watanabe
Tsumoto Nodi
F. Kawa
Asakichi Kimura
Teru Y. Koshi
Kinzaburo Furagami
Yashiro Watanabe
Tachi Yamaguchi
Asasi Kawashi

（金券在中）

昭和十三年六月十日
在サンパウロ
帝國總領事館

消化不良と
勤勉家問答

甲「消化力が盛なのは仕事に對しても熱心に努力するとね」

乙「君そだよ、消化力如何が人生の幸不幸を左右すると云ふも決して過言ではあるまいと思ふね」

「よく咀嚼したれば消化は自と良くなり滋養力も出來て職務に樂が出るやうになる！」

甲「さうするとですね、咀嚼不充分でもつと一層が萬事駄目といふわけですね」

乙「そうだ、夜は熟睡が出來ないし、いつもつまらぬ事で癇にさはつたり、忍耐力が無くなつて職務にさへなる」

甲「消化不良を良くするにはどうすれば宜いでせうか？

乙「よく咀嚼することに勿論だが時間正しくゆつくりおちついて食事をし、過食を避けることが大切です」

甲「時にもう胃腸を害ねて苦しんでゐる連中にはどんな手當が必要なんですか」

乙「一定期間の斷食を行ひ、カーザ・バイエルの「エルドゥオルミオ錠」を服用するんですね。それは、舊粘液を補强し、腸內の不快な醱酵を避けしめ、神經系統にも良い結果を及ぼし、爽快な生れ替つたやうになつて勤勉に働いてゐる人が澤山ある事を知つてゐるよ」

清潔、親切、叮嚀を旨としてバストス入植視察者へは特に御便宜を計ります
ホテル・アサヒ
岡田幸廣

ソロカバナ線ランシヤリア驛前　郵函五四

純日本式ふとん綿
打直し時期になりました

此度皆樣の御勸めに從ひ古綿打直しを致す事になりましたから何卒御用命の程伏して御願申上げます、尙御結婚用の御蒲團も御好みに應じて御調製仕ります

打直賃キロ二ミル五百レース

叮嚀迅速　小畑製綿所
小畑又吉
聖市コンデ・ド・ビニヤール街七九旭旅館前

小野弟對ベネヂット・ビーレ

◎の豪華柔道試合を呼物にして今夜午後九時からクルブ・アトレチカ・サンパウロで繰ひろげられる日伯柔道の爭覇戰、何れが勝つ？

カフエアデリーノは他と全然異る故日本人のよいフレゲイスを持つてをります

Praça João Mendes, 7

FRONTÃO BÔA VISTA

爽快なスポーツ、聖市名物

フロントン ボアビスタへ

聖市ラデイラ・ポルト・ジエラール
（オ・エスタード社横通り）

毎日午後七時半から
興味百パーセントの妙味は
展開！

八時から十二時迄は
小球界の王者達が
必死になつて勝敗を爭ふ

昭和十三年六月九日
プラジル中央日本人會
會長　多羅間鐵輔

各地日本人會御中

拜啓益々御清榮奉賀候陳者今般當會ノ第二回總會ヲ來ル七月五、六、七ノ三日間サンパウロ市ニ於テ開催致度候ニ付テハ委細ハ左記ニ依リ御了承ノ上貴會代表者一名御派遣セラレ度ク尙今回ハ議題中ニハ教育問題ノ如キ重要事項モ數有之ニ付可成貴會代表者ノ御出席方望マシク此段紙上ヲ以テ御案內申進候　敬具

記

一、開催期日　七月五、六、七ノ三日間

二、代表者ハ可成一驛ヲ離レタル地方ヲ中心トシ附近各地會員協議ノ上一名御派遣セラレタシ

三、議題トシテ提案御希望ノ向ハ本月廿五日迄ニ當スル樣發信セラレタシ

四、案內狀不着ノ向ハ本發表ヲ以テ案內狀ニ代ヘラレ度シ

五、御出席ノ有無ハ本月末日迄ニ左記宛御回報アリ度シ

T. Tarama, Caixa Postal 1167, São Paulo

SATURNINO SALAS
Gevaert

南米大陸總代理店

Rio de Janeiro
Rua da Alfandega, 83

Porto Alegre
General Victorino, 40

S. Paulo
R. Cons. Chrispiniano, 70

高級品一切寫眞材料
卸賣、小賣、特價提供

寫眞機業者　寫眞揚影業者
アマドール
原版＝コピア用紙＝フキルム

有名な「ジエルバルト」の親切に寫眞術を研究した小冊子あり、希望者には無代贈呈、申込大歡迎（邦文にても可）

峠の女性 (10)

山中峯太郎作
木原芳樹畫

林の奥

落葉を踏む二人の足音が、お靜の乙女心を、なほさびしがらせた

「なアに、兄さの奴が承諾しなけれア……」

と、豐彦は、獨り言の樣に言ひつゞけるのだった

「たかが百圓あまりぢやないか。僕がね、出してもいゝんだ」

「そんなこと、……」

と、お靜は、さゝやくやうに言つた

「なに、いゝんだよ。お靜ちやんを驚かした罪を、僕が、兄さの代りに、謝るのさ。その印だ」

「……」

「……」

「さうか、唯二人だけで留守してるんだね。お父つアんもゐないのか、……お靜ちやんそれでね……」

豐彦の聲が、籠るやうに、繼れてきた

お靜は豐彦の二重廻しの袂を、よけるやうにして、路ばたを歩いてゐた

……この人が、このまゝ家へ來たら、どうなるだらう？差押へと云ふものを、なくしてくれるといふこの人に、祖母は、滿度怒つてかゝるわ、さうしたら、もうこの人も、怒つて歸つてしまつたら、……さう思ふと、お靜は、胸を痛めずにはゐられないのだつた

「ね、今日だつて、僕が家にゐたら、そんな罪な差押へなんか、役場へ屆けさせるもんか。お靜ちやん、君の家で誰が一番に怒つてゐるの？」

「お祖母さんですわ、それは……」

「ふウム、無理はない！お父つアんは？」

「ゐませんの」

「え？　居ない？　さうか、どこかへ出てたの？」

「あの、……炭坑へ、掛さんと一緒に」

「あゝさうか、すると今、君の家には、お祖母さんとお靜ちやんと、弟と、三人だけなんだね？」

「えゝ、……」

「それア氣の毒だ！お祖母さんは、よッぽど怒つてるの？」

「……えゝ」

お靜は、かすかにうなづいた

「さうだらうね、怒る方が本當だ。が、僕なんか、さうすると、行つて顏を出さない方がいゝんだな」

「さうだらうねエ、怒る方が本當だ。僕なんか、さうすると、行つて顏を出さない方がいゝんだな」

路は桑畑の間から、まばらな雜木林へ入りかけてゐた。枯れ葉を踏む足音が、また高く聞えだした。この林を出ると、お靜の家は、三町ほど向ふにあるのだつた

豐彦は、あせりだして言つづけた

「それでね、僕は、お靜ちやんに少し話があるんだが、今のことで、……差押への事でだよ」

「えゝ、……」

「しかしね、僕は、お祖母さんの前に顏をだして、頭から誤解されて怒られるのも、いやだしね、だから、……」

「えゝ、……」

お靜は彌くうなづいた

「だから、……ちよつと話せばいいんだからね、お靜ちやん！」

さう言ひながら、豐彦は、林の中の小路を、スルッと右へまがりかけた

まばらな林の下に、月の光がほの暗くしづまつてゐる……

燈にくべる枯れ枝や落ち葉を、いつも取りにくる林なので、お靜は夜でも、さして恐ろしいとは思はなかつた。豐彦が誘いて行く方へ誘を聞く聞きたい思ひで、落ち葉をふみながらついて行つた

文藝

嵯峨總領事を圍み 同好者懇談會記

徳尾溪舟

久しく不振をかこつてゐた聖市短歌界も、歌人嵯峨總領事が、急に遷化し、集合象定時間卿サッとひと降り時間たつた後俄かに秋らしい寒さが身に沁みるころ、急ぎ足で丁度青社氏等一行が豪勢に自動車を驅つて（但貸し自動車なり）ビアウイ街の青蘆生ひからまる閑靜な官邸に構ひ付けした所だつた、此の日集まる者は

阿部青社、石竹花、伊吉砂丘、木村茅里、武田そで、同綾子

に筆者の七名やや遲れて講家の半田知雄君が加はつた、まだこの外に、三象定してゐた人もあつたが、都合で來られず殘念だつた、半田君が來て話題を豐富にしてくれたのは嬉しい、豪華な應接室でアルバムなど開いて待つ間もなく身輕な平服で駕いた總領事が現れる一應紹介などがあつた後、勞に設けられた別室に入り、茶菓の馳走になりながら、懇談移る最初は稍固苦しくなつてゐた一同も、平素の總領事らしい嚴めしい官服を脱ぎすてて歌人嵯峨としてグッと砕けた總領事の話上手に段々皆も、同感味に生きる"

としての安心と親しみを覺えた明るい灯影の下で時間の經つのも忘れて談笑する、總領事は明星派の流れを汲む歌人、その作歌生活も隨ぶん古いものらしいがペンネームを四つも持つて最近たくましい作歌力を示して居り才に委して作りまくると云ふ樣な詠みぶりでありながら、しつかり落着いた構調をもつてゐるのは矢張り長年月の習練の賜ものであらう何時か本欄に發表した、愚歌の大詔を拜して」の歌など感に堪へぬ作品だと青社氏は感嘆これを久しゆうしてゐた

總領事のペンネームにはその一つ〳〵にユーモアたつぷりな由來があり、挨拶に及んだ時皆を爆笑させた、新聞に書いたけど"割愛しよう、こうして賑かに話はづんでゐる最中、"記念に何か一つ寫書いてくれ"と紙と硯を出され字は然に下手な上手う十何年ろく〳〵筆を持たこともない筆者たちに大恐慌を與へたが、"此の間にあつてうまいことをしたのは青社氏でさつさと最初に筆をおろし、他の連中がぶつ〳〵ごた〳〵してゐる中に總領事に賛意の一筆を揮はせ、それをせしめて意氣揚々外の連中から、憧まれることそのうち夕食の馳走になり話はそれからそれへと續いて行く御身達は皆私しの嫉ましい姉妹ですそれはみな私しの苦惱であり私しの欣びなのです

御身達の苦惱を思ふと私しの胸は憂愁に閉され御身達の嬉しげな顏を見ると私しの胸も幸福の海のよう御身達の幸福を祈る私しは一日の勞苦を終へて今夕日の空を仰いで居ます

おゝ見給へ、乙女等よ涯しない荒野の地平線に沈々として落ち行く太陽を新しき明日と云ふ日の私達の幸福の象徴シンボルである赤き〳〵太陽

歌話謹聽

石竹花

金色の檸子に腰掛けつゝましく坂根總領事のおはなしを聽ぐ

靜やかに總領事嵯峨は語り給ふ腰村に傳通ふ、お顏なつかしそのかみの聖星派歌人坂根嵯峨サンパウロの街に歌詠み在す

者たちに大恐慌を與へたが、"此の間にあつてうまいことをしたのは青社氏でさつさと最初に筆をおろし、他の連中がぶつ〳〵ごた〳〵してゐる中に總領事に賛意の一筆を揮はせ、それをせしめて意氣揚々外の連中から、憧まれることそのうち夕食の馳走になり話はそれからそれへと續いて行く御身達は皆私しの嫉ましい姉妹ですそれはみな私しの苦惱であり私しの欣びなのです

御身達の苦惱を思ふと私しの胸は憂愁に閉され御身達の嬉しげな顏を見ると私しの胸も幸福の海のよう御身達の幸福を祈る私しは一日の勞苦を終へて今夕日の空を仰いで居ます

おゝ見給へ、乙女等よ涯しない荒野の地平線に沈々として落ち行く太陽を新しき明日と云ふ日の私達の幸福の象徴シンボルである赤き〳〵太陽

詩

秋

佐藤寒兒

濡れた赤土道の上に

農村の乙女に

葉

汗にまみれ土に親しむ草深き農村のうら若き乙女等よ

御身達は皆私しの嫉ましい姉妹です

御身達の苦惱御身達の欣び

それはみな私しの苦惱であり私しの欣びなのです

御身達の苦惱を思ふと私しの胸は憂愁に閉され御身達の嬉しげな顏を見ると私しの胸も幸福の海のよう御身達の幸福を祈る私しは一日の勞苦を終へて今夕日の空を仰いで居ます

おゝ見給へ、乙女等よ涯しない荒野の地平線に沈々として落ち行く太陽を新しき明日と云ふ日の私達の幸福の象徴シンボルである赤き〳〵太陽

愛情

鳥居敏

小さき野の花をつんで戀人よ遠くからほんやりと何を考へて居るのだ

樹々の梢には小鳥がある小さい鳥は鳥ながらひねもす生の讃歌を合唱した私達は樹々の向ふの丘に馳け上つて行つた

青い空には白い雲が流れ丘には若草の匂ひがした懐しい故郷の友の音信がはるばる海を渡つて來るかも知れぬ

仰ぎ見る空は尊く若き想念は濱々とこゝろ高らかに唄ひたくなつた

新しい手帳に私は新しい文字を顯らせよう小鳥と花と手紙と唄と

短歌

○ 悲路多夜城

風起りて夕立雲の行き擦し稲刈り急ぐとり入れの秋

○ 廣瀬　富夫

樹摘まつゝふつと親しく口きゝし乙女の家の訪ひたくなりぬ

故郷の母　久高　彰

ふるさとの貧しき生活忘るなと便りの度に宣らす母かな故郷に一人老ひづく母上の便り哀れや滅乗るゝも

○ ひかる生

幾つかの森過ぎ行かば懐しき君に會へると思へば行きたし

事變寫眞を見て　仙田　浮草

城頭に高く揚げたる日章旗万歳叫ぶ人等雀

○ 上岡　光子

樹賣りて東鮮の ほろ酔ひにこ宵の父の笑顏嬉るし

父と娘は いつまでも〳〵立ち續けてゐる

手離されば ならなくなつた吾が子に向つてこの父を忘れるなとくど〳〵云ひ聞かして居たカンボは何處までも黄色で

それに續く今年限りの棉畑は 苦茫として冷たい雨の底に すゝり泣いて居る

殘る者の少くなつたこの山村に父は娘の後姿を もう一度ふりかへつて しよんぼりと寒々しく 水洩をすゝつた

○ 上條　悠春

前後しつ鐵屑にして沈み行く夕日背に受け歸り行く聯

○ 上岡　伯聲

此の棉が火繁となりて報國の焰と燃へて敵を懲らすか

知久　哲夫

仰ぎ見る大空澄みて冬めけり日本の友より今日も便り無し

○ 西澤　榮

父母の國安かれと誠心に今日も持寄る空瓶の數（學童）

○ 木下　笠峯

雨止みて夕月出ぬ部屋はゝ内にに淡く淋しくさし入りて來る

○ いこま

肩に重きカメラかばんのかさこそと行き暮れし道に心細き音する

○ 去山　曉子

別れ來しかの秋の日の不忍の池に蓮は亂れ居りけり

○ 中村　紫船

きりさめは止まざるまゝに暮れにけり淋しさに堪へて雨音を聞く

○ 伊舞　潜

若き日の白き手今は固くれぬ我が情熱も裏へ行くなり

棉作者の歌

長友　安德

取穫も終へて棉畑に伸びし草夕暮の風にかろくなびける

棉の價がたとへ安くて苦しくも他に變る可き業我に無し

我もまた借地農して何時までも棉を作りて暮す一人か

二世の歌　夢城

二世と云ふ名に貴はされし悲みと我はまさしく移民の子な

二世と云ふ名に貴はされしかなしみよ我がかなしみのすべてに泣し

陽明く何かのどけき秋の朝牛は瞳を閉ぢてもの噛みて居り

金と云ふ黒を取らばこの國の吾が同胞は如何にか生きむ

我が血汐異人の血にはあらねども錦衣歸郷の語は我に無し

亡き母の靈に　千野　想生

今もなほまぶた閉ぢれば亡き母の若き姿の瞳にうつるなりつゝましくありはしつれど或る時はきびしく我をしかりける母亡き母に似たりと人に言はれしより嬉しし嬉の殊になつかし

○ 三好　疊

かにかくに我が家は懐しミモリザの咲かむとする日に歸り來にけり

聞くは只しめやかに降る秋の夜の雨の音なり四度か目覺めぬ

姪繁子の靈前にて

二筋の香の煙のいとしづか御燈明を供へつ妹は生ける かに子の寫し繪に語りかけ

○ 葛西　妙子

病業の日毎散り散り柿の實の色濃くなりぬ秋深むなり

小鳥等の遊びどことなり日ひと日枝飛び移る小家合へり

故郷の土藏の裏に一本の柿の樹ありて秋をかざりぬ

秋となれば母の實家に招かれて柿を喰ぶるが嬉ひなりけり

○ 與世山彦志

アルモッサに喰べよと與れしガリンユヤのソッパのうまきモヂアナの脈

モヂアナのイガラバーバの赤土に脈も汚れて汽車を待ち居り

モヂアナの土の汚れを洗ひつゝ時れたる朝を妻と語らふ

脈の子は大きくなりぬ犬の子は貰はれにけり一月見ぬ家

この家の棉畑終りとなりて他處へ行きしカマラダ如何にか今日

雨降る雨降る棉一つなし草生えて草の花咲く家のまはりも

伐り倒す畑の高木大きなる地鳴き立てる靜かなる山に

皐夫に與ふ

武本夫山

產みの力はまる時しこれの世に汝は生れ出でぬ風々たからかに

曙の光に匂ふかほばせを珠玉ともみしぞ汝が父われは

女子ならむと想ひたりしに生まれきし汝はも丈夫珠なす男の子

我が子てふ名だに生れし汝を抱きこれ今生の緣と思はずい

だきあげ皐夫と皐夫と汝を稱べば父我が胸に血潮のたぎる

住吉砂丘兄に

たち別れひと年經ぬれど君に借りし鍬かへすぬは拂斎に似つ

石竹花兄に

この日頃歌詠者君が手兄宗尊で短歌忘れしと風傳てにけり

○ 渓舟

なぎさ邊をそぞろ行きつゝ珍らしみ撫へる貝は嚴手にあまれり（サントス）

靈柩車の後ゆしゆくしゆく自動車のうち續き行く小雨降る街

すゝめる杯はこばまず受けて乾して荒む心と我は思はず

濁り無き目が瞳讀へむ三十路幸福微笑にわれ守り來ぬ

おぼしく寒うすがすがみ朝よりは花火のひぐく六月となりぬ

後記

極く少數の誌面を除いて本欄投稿者の大部分は伯國の出生者か小學校を終るか終らないかで渡伯した經驗の所謂第二世であり日本語の不自由な爲と適當な指導者の無いことを佳作のない事も遺憾の至りなるより外ないがそれでも商こゝに喰ひついて多少でも尊い藝術的思想を助長せしめ樣

とする後學の眞剣さは、又しても感ぜられるけど、渡伯球來からした方配は顧やうともせず、紅燈靈統の巷に沈淪して了ふ、〇〇大學、〇〇專門學校卒業を榮の先にぶらさげる樣な連中よりは遙に尊いものだが何としても不振である、十首、廿首の内から、訂正してようやく一首を拔くといふ樣な現狀では何時も情ない氣がする、一々の批評は難ける

が復城君はたゞ平凡ばかり廣瀬君の父然り久高氏の母は感慨に甘へて母への歌がいつれも安つぽいものになつてゐる

同時に、紙上を賑はす歌人坂根氏は感じ生氏のものゝ方が俗趣深いものを持つてゐる、ひかる生君のは戀歌の一聯だつたが大振の歌だつた、仙田氏のも駄目、上岡兄は妹知久、木下君等いづれも雅なし、此のグループは一しよの樣だから互ひに勉强しあふが好い、伊澤氏のも探ないものばかりだつた、いこま氏の「かばんのかさこそと」の「かさこそ」と云ふのはおかしい、古山氏のも甘へた歌だつた、中村氏のは原作「止まぬがまゝに」とあつたが何もそんなに氣取る要なく「止まざるまゝに」の方が好い、伊澤氏のも探ないもの、イブセンが泣く程感銘甘へた安つぽいものである、長友氏のはやつとこれだけ探つたが纏表したのは大体佳い歌だ、夢城君のは何處か、かたひじを怒らせ過ぎたといふ感じもするが、でもこれ位なら我慢出來ようでもこれ位なら我慢出來ようと云はゞ陳腐でもこれ位なら我慢出來ようと云はゞ陳腐にした丈で云はゞ陳腐にした丈で云はゞ陳腐にした丈で